

# 剣、立山周辺 5/2~5

## 武部 慎

当初は4月29日から矢野さんも入山予定であるが、僕が今世を以てしまい結局断ってしまった。夫々ともすみません。5月2日は雨なので承知の上で、3日から行動でき3つもりで二日朝に出発した。

5/2 ●

天氣が悪いだけのことであるので、アルペンルートは比較的いいといった。ロードウェイだけはさすがに待たされた。室堂の視界はさほど悪くなく、十分大天場迄行けた視界であり安心した。室堂へ雷鳥次第は地形が複雑でいわゆる迷宮である。天場は雷鳥次第であるが、一ノ越にて出発する。室堂山莊からスキーで滑降を開始する。スキーが滑らかく在了頃にさまでテントが見え木、トキ了。夜はテントの中が洪水になり、大変だ。走。

5/3 ● ○ ◎

思、たより天氣の回復が遅く1日中停滞。夕方に温泉に入りに行、た。もう少しあい吹雪で小屋迄往復が心配に在る程だ。た。でも、キジ毛打子丸いしと思ひ完全装備で小屋に行、た。

5/4 ○

寒くてあまり寝れ未分、たせりか、とか在か起され未け。少し出邊れ了。天場から雷鳥次第とい起れんか少しも滑り、シールを付けてさあ登るぞと踏み出すと、主人とスキーがはずれ了。ハリハリ板討して、ゼンティングに付いた氷が原因とかカリホットす。登り直がジン雪の状態は、氷の上に新雪といういやややコンディションもわかる。3分の2はスキーで登れたと思、てりもが、終局半分し分登れ未か、た。ツボ足つトレースかジンか走に走て川走りで、ツボ足だ矣。でトレースに履き下りた又時間的にロスしてしま。た。剣次第このまま滑れば三ノ窓、小窓のどちらかは行ける。でも真砂漠を滑べり

たが、たからアイゼンをはき、スキーをザックに付けて再び登る。棱鏡体アイスバーンであり別山越えたもののここからスキーを付けて……友人でとんでも走り、山頂でレリアイゼンを付けて、アイゼンで真砂礫のコル近アライゼンで下る。急斜面のアイスバーンで緊張する。コル近来たる先寄バーで滑り、大後があり、一部鹿面の新雪が付いていた所があり、やがて気がする。こちの新雪始める15m、斜滑降から1回ターンするが、次のターンができるまで。以外と新雪は重く、下部がアイスバーんで固、てしまい少し斜滑降で行、てしま、も、よけいに急に止、てみると自分のスキーの幅で新雪ごとを生ま姿勢で滑落した。ザックのサイドに付けていたビックルがブレーキに走、でくまで加速はしく、10m程で止。た。ここはもう斜度はまいか、アイスバーんとをんと1ターンできず堅きのバーんと、下げるとやしあがる。斜度でバランスを保つて高度を下げ、すが、高さは落ちる。100mの高さを下げ、アイスバーんは走くなり安心し快適に飛ばす。途中に先行バーで雪、クレバス、落石、デブリと危険度は増してきだが、前に真砂礫のテントが見えるから安心だ。

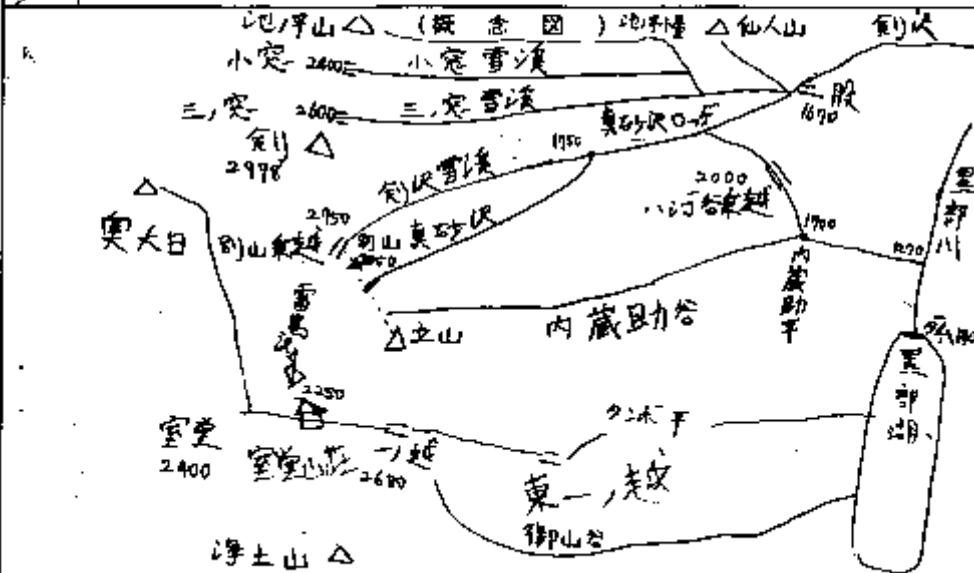


5/2 大町 ( $H_{13:00}^{2:00}$ ) — 届沢 ( $I_{13:00}^{2:00}$ ) — 室堂 ( $I_{15:00}^{10:00}$ ) — 雷鳥沢 ( $I_{15:45}^{14:45}$ )

5/4 天場  $5:50$  — 別山東越  $(6:50)$  — 別山  $(6:45)$  — 真砂沢  
 上  $(9:20)$  — 真砂沢天場  $(10:00)$  — 二股  $(11:20)$  —  
 北股終点  $(12:30)$  — 二股  $(13:00)$  — 八之丁谷東越  
 $(14:30)$  — 黒部川  $(16:00)$  — 九谷  $(18:00)$  —

5/5 室堂(9:30) — 天場(9:55) — 越(10:20) — 東 —  
越(10:45) — 黒部湖畔(15:20) — 黒部ダム(15:40)

日付	行動予定	期間	5/2	5/5	予備日	1 日
5/2	室堂—雷鳥沢合→奥大日山～立山 又は 別山東越→御岳	5/2				
5/3	鶴鳴—別山東越→真砂沢—二股→室堂谷乗越	5/3				
5/3	鶴鳴—別山東越→内蔵助谷	5/3				
5/4	鶴鳴—“	5/4	一割沢—二股	三ノ窓—八丁谷乗越	5/4	5/4
5/4	“	5/4	別山東越→真砂沢—二股—仙人山	“	5/4	5/4
5/5	“	5/5	室堂—二股	御岳山谷—黒部湖	5/5	5/5



荒天、非常時対策、エスケープルート、その他  
5/3, 4日の行動は 7ビーバークの用意で出発す。

食糧 1人当たり	食分	非常食 1人当たり	食分	予備食 2	食分
共同装備 燃料	無線(無・有)	1台 CB26.976MHz	CBその他	NHZ	